

陳 情 文 書 表

(令和8年10月20日)

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第248号（8．10．13） 「神戸空港の『特定利用空港』指定」に同意しないことを求める陳 情
陳 情 の 要 旨	1．「神戸空港の『特定利用空港』指定」に同意しないこと。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市北区 原水爆禁止北区協議会 事務局長 祝 教允
送 付 委 員 会	経済港湾委員会

2026 年 10 月 13 日

神戸市会議長 よこはた和幸 様

「神戸空港の『特定利用空港』指定」に同意しないことを求める陳情

陳情者 祝 教 允

北_区 神戸市北区

原水爆禁止協議会（略称・北区原水協）事務局長

私たち神戸市民の生活・平和を守るため、ご奮闘されておられることに心から敬意を表します。

この度、高市自民・維新政権は、神戸空港をはじめ、伊丹市の大阪国際空港、姫路港などを「特定利用空港」に指定すると聞きました。この「特定利用空港」に指定されれば、防衛省は、自衛隊の訓練に際し「戦闘機等の運用や、弾薬等の危険物の取扱い」がありうると回答しており、米軍の利用についても「可能性は考えられます」と聞きました。神戸の知識人の方々も「もし神戸空港が軍事利用されると国際法の保護対象から外れ、攻撃の対象になりかねない」とのご意見もお聞きました。

ご存知のとおり、今日、電飾で輝いている「碓山」は、天皇を迎えて実施された観艦式に神戸の子供たちが錨の形で「日の丸」を振った山で、神戸は軍港と位置付けられていました。「軍事政権」下「大東亜戦争」「太平洋戦争」と称し、「米・英」をはじめアジア諸国を敵に回して、太平洋地域を巻き込む戦争を引き起こしました。

その結果は、神戸も首都東京に並んで、最初の米軍本空襲を受け、原爆投下目標地としても検討され、4地域に「原爆模擬爆弾」を投下されました。

戦時下、借家の床下に防空壕を造り、集団疎開や縁故疎開し、市内を望める高台からの写真・スケッチも禁じられる状況も続きました。戦後、疎開から帰って見た焼け野が原となった神戸の暗闇に驚いたことは忘れられません。

戦後、一早く米軍に占拠された神戸港は、平和を願う神戸市民の声が高まり、米軍の支配を除き、「非核神戸港」を成立させて世界が注目する港となっています。

ところが、この度、神戸港を「特定利用港湾」として指定し軍事港化しようとしています。ところが、古代から「兵庫の津」として、大陸との友好・交流を発展させてきた「港」を守ることは重要です。この度の「特定利用港」として指定することは、神戸の誇るべき歴史を踏みにじるものであり、不穏なアジア・中東の動きを煽り立てようとするものです。

神戸市が真の平和を守るため、「再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意」した日本国憲法・前文の精神を国に求めていただきたいと陳情いたします。

「陳情項目」

神戸空港の「特定利用空港」指定」に同意しないこと

以上